



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
コード番号 9997 URL <https://www.belluna.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	96,105	△2.7	3,095	△16.1	4,325	△7.4	3,263	14.5
2023年3月期第2四半期	98,779	△6.6	3,689	△22.4	4,671	△8.4	2,849	△11.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,454百万円(64.8%) 2023年3月期第2四半期 4,523百万円(12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.75	—
2023年3月期第2四半期	29.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	295,248	133,008	44.7
2023年3月期	285,592	126,436	43.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 131,904百万円 2023年3月期 125,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.25	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.25	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	208,500	△1.8	10,000	△10.9	11,000	△11.7	7,000	△5.6	72.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	97,244,472株	2023年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	545,205株	2023年3月期	554,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	96,692,043株	2023年3月期2Q	96,686,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い経済活動の正常化が進展するなか、国内の個人消費や設備投資は回復傾向となりました。一方で円安の進行や原材料・エネルギー価格の高騰、高止まりなどにより物価上昇が進行しており、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントの強化に取り組んで参りました。その結果、当連結会計年度の売上高は96,105百万円（前年同期比2.7%減）となり、営業利益は3,095百万円（同16.1%減）となりました。経常利益は4,325百万円（同7.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益が発生したことなどにより3,263百万円（同14.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

[アパレル・雑貨事業]

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の影響、原材料や資材の価格高騰を受け仕入原価が上昇したため、商品価格の見直しや紙媒体における発行量の抑制を行いました。商品の値上げにより受注単価は上昇したもののレスポンスは鈍化傾向となりました。また、紙媒体の発行量を抑制したため新規顧客の獲得が減少し、稼働顧客数も減少傾向となりました。この結果、売上高は34,822百万円（同18.1%減）となり、セグメント損失は1,340百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

[化粧品健康食品事業]

化粧品通販事業においては、国内のECを中心とした新規顧客獲得効率が好調に推移したため増収となりました。一方で、成長性を重視し積極的に広告展開を行ったため減益となりました。健康食品通販事業においては、既存主力商品に絞った効率性重視の広告展開を行ったため減収となったものの利益率が改善し増益となりました。この結果、売上高は7,446百万円（同0.5%増）となり、セグメント利益は405百万円（同31.7%減）となりました。

[グルメ事業]

グルメ通販事業においては、外食・外飲み回帰傾向の影響により売上の伸びが一服。また、円安の影響、原材料や資材の価格高騰を受け仕入原価が上昇したため、一部商品価格の見直しを行いました。原価率は悪化しました。この結果、売上高は12,705百万円（同0.0%減）となり、セグメント損失は99百万円（前年同期は219百万円のセグメント利益）となりました。

[ナース関連事業]

看護師向け通販事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大時に増加した特需顧客向けの紙媒体発行を抑制するなど、広告宣伝費の適正化を行い、収益性確保を優先した事業運営を行いました。この結果、売上高は6,730百万円（同11.3%減）となり、セグメント利益は374百万円（同114.5%増）となりました。

[データベース活用事業]

封入・同送サービスにおいては、新規クライアントの獲得強化や新たなサービス展開は順調であったものの、アパレル・雑貨事業におけるカタログ発行数及び商品出荷件数の減少により減収減益となりました。フルフィルメント受託サービスにおいては、人件費等のコストが上昇したものの新規クライアントの増加などにより増収増益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客獲得の拡大により増収増益となりました。この結果、売上高は8,204百万円（同9.7%増）となり、セグメント利益は2,547百万円（同10.3%減）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の撤退を行ったこと、既存店舗の来客数は増加したものの購入単価の下落があったことなどにより減収減益となりました。一方で、(株)さが美、(株)東京ますいわ屋における構造改革が引き続き浸透し、収益性の改善が図られました。また、衣裳レンタル事業においては、卒業式袴の早期受注会の実施による大幅な受注増に伴い、受注経費の増加が発生しました。この結果、売上高は10,395百万円(同6.7%減)となり、セグメント損失は193百万円(前年同期は135百万円のセグメント損失)となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限や外国人の入国規制が緩和された影響から旅行や出張による宿泊需要が回復し、既存ホテルの稼働率や客室単価が改善しました。また国内新規稼働ホテルが加わったことなどにより、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は14,305百万円(同70.8%増)となり、セグメント利益は1,751百万円(同370.5%増)となりました。

〔その他の事業〕

飲食店事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和された影響により増収増益となりました。宿泊予約事業においては、提携宿のコスト高騰により価格見直しを行った結果、レスポンスが鈍化傾向となったことから紙媒体発行量を抑制し、減収減益となりました。アパレル卸売事業においては、販売先の展開縮小が継続しており減収減益となりました。この結果、売上高は1,881百万円(同10.0%減)となり、セグメント損失は143百万円(前年同期は69百万円のセグメント損失)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,111	32,583
受取手形及び売掛金	10,397	10,271
営業貸付金	29,378	30,614
有価証券	170	524
商品及び製品	28,397	30,155
原材料及び貯蔵品	1,530	1,511
販売用不動産	5,780	5,598
仕掛販売用不動産	2,893	3,280
その他	12,817	14,349
貸倒引当金	△811	△832
流動資産合計	122,664	128,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,913	63,728
機械装置及び運搬具（純額）	6,681	8,438
工具、器具及び備品（純額）	1,797	2,056
土地	46,919	47,005
リース資産（純額）	156	2,122
建設仮勘定	30,027	10,025
有形固定資産合計	129,495	133,377
無形固定資産		
のれん	1,487	1,197
リース資産	352	264
その他	8,734	9,592
無形固定資産合計	10,574	11,054
投資その他の資産		
投資有価証券	14,371	14,098
長期貸付金	1,812	1,976
破産更生債権等	179	174
繰延税金資産	1,396	864
その他	5,724	6,320
貸倒引当金	△627	△674
投資その他の資産合計	22,857	22,760
固定資産合計	162,928	167,192
資産合計	285,592	295,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,723	13,409
電子記録債務	5,442	4,423
短期借入金	20,326	12,875
1年内償還予定の社債	20	20
未払費用	15,086	12,182
リース債務	239	386
未払法人税等	1,875	1,981
契約負債	3,756	4,623
賞与引当金	1,028	935
店舗閉鎖損失引当金	13	13
その他	3,074	2,544
流動負債合計	64,587	53,396
固定負債		
社債	5,020	5,010
長期借入金	85,462	97,454
利息返還損失引当金	389	419
リース債務	273	2,021
退職給付に係る負債	160	354
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,134	1,139
修繕引当金	94	109
その他	1,785	2,085
固定負債合計	94,568	108,842
負債合計	159,155	162,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,951	10,950
利益剰余金	108,663	110,960
自己株式	△462	△455
株主資本合計	129,765	132,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	2,349
繰延ヘッジ損益	106	599
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△6,071	△3,089
退職給付に係る調整累計額	0	△16
その他の包括利益累計額合計	△4,268	△163
非支配株主持分	940	1,104
純資産合計	126,436	133,008
負債純資産合計	285,592	295,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	98,779	96,105
売上原価	39,577	37,169
売上総利益	59,202	58,935
販売費及び一般管理費	55,513	55,839
営業利益	3,689	3,095
営業外収益		
受取配当金	168	254
為替差益	832	995
助成金収入	96	36
その他	375	448
営業外収益合計	1,473	1,734
営業外費用		
支払利息	147	216
支払手数料	227	166
減価償却費	10	11
店舗閉鎖損失	64	34
その他	42	75
営業外費用合計	491	504
経常利益	4,671	4,325
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	-	655
投資有価証券償還益	-	7
特別利益合計	2	665
特別損失		
固定資産除却損	19	5
投資有価証券評価損	80	0
特別損失合計	99	5
税金等調整前四半期純利益	4,574	4,985
法人税、住民税及び事業税	1,731	1,569
法人税等調整額	△16	134
法人税等合計	1,714	1,703
四半期純利益	2,859	3,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,849	3,263

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	2,859	3,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164	647
繰延ヘッジ損益	27	493
為替換算調整勘定	1,810	3,050
退職給付に係る調整額	△8	△17
その他の包括利益合計	1,664	4,173
四半期包括利益	4,523	7,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,470	7,369
非支配株主に係る四半期包括利益	53	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,574	4,985
減価償却費	1,875	2,472
のれん償却額	374	343
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	16	△100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	11
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△60	30
修繕引当金の増減額(△は減少)	14	14
受取利息及び受取配当金	△211	△366
支払利息	147	216
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△655
投資有価証券評価損益(△は益)	80	0
為替差損益(△は益)	△464	△367
固定資産除却損	19	5
固定資産売却損益(△は益)	△2	△2
売上債権の増減額(△は増加)	849	193
営業貸付金の増減額(△は増加)	△958	△1,231
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,613	△1,620
販売用不動産の増減額(△は増加)	228	375
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,374	1,562
仕入債務の増減額(△は減少)	△797	△811
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△489	△2,926
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△60	142
その他	411	881
小計	4,290	3,169
利息及び配当金の受取額	210	362
利息の支払額	△149	△215
法人税等の還付額	61	119
法人税等の支払額	△2,059	△1,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,354	1,714

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,054	△6,415
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△1,061	△900
投資有価証券の取得による支出	△469	△741
投資有価証券の売却による収入	182	2,268
貸付けによる支出	△1	△235
貸付金の回収による収入	16	4
差入保証金の差入による支出	△75	△64
差入保証金の回収による収入	135	90
その他の支出	△39	△71
その他の収入	4	1
子会社株式の取得による支出	-	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	800	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,559	△6,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,850	△9,800
長期借入れによる収入	11,597	19,103
長期借入金の返済による支出	△3,145	△5,112
社債の償還による支出	-	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△918	△966
非支配株主からの払込みによる収入	-	78
リース債務の返済による支出	△140	△155
セール・アンド・リースバックによる収入	-	2,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,543	5,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	601	820
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△60	1,654
現金及び現金同等物の期首残高	29,569	31,828
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,509	33,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データ ベース 活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	42,311	7,411	12,591	7,580	7,417	77,312	11,078	8,339	2,049	—	98,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	189	0	116	11	64	383	62	34	39	△520	—
計	42,501	7,411	12,707	7,591	7,482	77,695	11,140	8,374	2,089	△520	98,779
セグメント利益(又は セグメント損失△)	△33	593	219	174	2,839	3,793	△135	372	△69	△271	3,689

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳103百万円とのれん償却費△374百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データ ベース 活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	34,752	7,446	12,555	6,730	8,181	69,665	10,348	14,247	1,843	—	96,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	0	150	0	22	244	47	58	37	△387	—
計	34,822	7,446	12,705	6,730	8,204	69,910	10,395	14,305	1,881	△387	96,105
セグメント利益(又は セグメント損失△)	△1,340	405	△99	374	2,547	1,887	△193	1,751	△143	△205	3,095

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳137百万円とのれん償却費△343百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。